

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 ありんこみらい				公表日	2025年 3月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		療育内容に合わせて場所を移動し、集中しやすい環境づくりを行っています。	安全で落ち着いて過ごせるよう、空間の区切り方を改善していきます。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		個別支援を大切にしながら、集団での活動にも少しずつ取り組むことを意識しています。	職員の経験差によって対応にばらつきが出ないよう、支援スキルの統一と共有を進めています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		不要な物を置かず、刺激を抑えた環境づくりを行っています。	音に敏感なお子さまも多いため、落ち着ける個別スペースの整備を目指します。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清潔で落ち着いた色合いの室内環境を維持し、安心して過ごせる空間づくりに努めています。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5					
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		支援の目的を共有しながら、継続して取り組む姿勢を大切にしています。	HUG(連絡・記録ツール等)の確認漏れを防ぐ体制づくりを進めます。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者の声を受け止めながら、より良い支援につなげる意識を持っています。	保護者の評価やご意見へのフィードバックを増やし、共有を丁寧に行う体制を強化していきます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		空き時間を活用したミーティングを行い、情報共有を進めています。	業務内容の整理・明確化を図り、理解の差が生じないようにします。繰り返しの意見交換と確認を行い、認識を統一していきます。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修に積極的に参加し、学びを取り入れています。	職員全員で学びを共有する機会を定期的に設け、療育に活かせるようにしていきます。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6					
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		療育担当職員と連携し、支援計画を作成しています。目標の達成状況や支援中の様子を確認しながら、より適切な支援につなげています。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		情報共有を確認する習慣を持ち、支援の質を維持するよう努めています。	アセスメントの理解や再検討を定期的に行う体制を整え、より適切な支援につなげていきます。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5					
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6					

	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	週案の内容を共有する取り組みを行い、支援の方向性をそろえる意識を持っています。	毎回振り返りができていないため、週末に短い時間でも振り返る機会を設け、支援の深まりにつなげていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		検証や改善の視点を持ちながら、支援の質向上を意識しています。	検証・改善のプロセスを定期的に見直し、より良い支援につなげていきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて 幼稚園・保育園と情報共有を行い、連携を図っています。	医療機関との連携が十分ではないため、必要な支援につながる連携体制の構築を進めています。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		一部の園とはビジネスチャットや公式LINEによる情報共有がてきており、お子さまの様子を互いに把握しながら支援につなげています。	より多くの園との情報共有を強化し、園での様子も把握できる仕組みづくりを進めています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			就学支援シートの活用を強化し、支援内容をスムーズに引き継げるようにしていきます。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1		地域の児童発達支援センター等とのスーパーバイズ機会を取り入れ、専門的視点での助言を受けられる体制づくりを進めています。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	ありんご保育園との交流を通して、就学前のお子さまとの関わりや経験の幅を広げています。	他園との交流が少ないため、地域の施設とのつながりを広げる機会を増やしていきます。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		保護者同士の交流機会（交流会・懇親会）の開催を検討し、意見交換や安心できるつながりづくりを進めています。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	イベントを実施し、楽しく参加できる機会を提供しています。保護者からも好評をいただいているいます。	より良い交流の場となるよう、定期的（学期ごとなど）なイベントや交流会の開催を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者からのご相談には その都度丁寧に対応し、安心していただけるよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の扱いに配慮しながら、必要な共有を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	イベントを実施し、親子で楽しめる機会を提供できています。良い評価をいただいています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCP（事業継続計画）に基づき、安全確保への取り組みを進行中です。	職員全体での訓練と周知を継続的に行い、いざという時に迅速で統一された行動がとれる体制を整えていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		情報共有の必要性を認識し、改善に向けた動きを始めています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	必要な情報や手順を共有する意識を持ちながら、業務を進めています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			エビデンス対応、痙攣時の対応、消火器の使用方法などの研修強化が必要と考えています。今後、職員全体で習熟を進めていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			家族への周知が十分ではないため、必要な情報をしっかりと共有できるよう今後体制を整えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		説明や共有の必要性について意識を持ちながら支援に取り組んでいます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ありんこみらい			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 14日 ~ 2025年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 14日 ~ 2025年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 4日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・清潔で安心できる環境・職員の親身な関わり	・広く清潔な環境で、安心して活動できるよう配慮している ・職員が親身に寄り添い、信頼関係を築いている	・安心感をさらに高めるため、空間の構造化を継続し、活動の見通しが持てる工夫を強化する
2	・楽しく参加できる多様な活動プログラム	・活動が固定化しないよう工夫し、子どもの意欲を高めている	・子どもの成長につながるプログラムの幅を広げ、就学準備の観点も強化する
3	・成長が実感できる支援の質	・特性理解に基づき、個別ニーズに応じた適切な支援を行っている	・支援の評価・振り返りを共有し、成果の見える化を進める（HUGや公式LINEの活用や面談の充実）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者支援・情報共有の強化	・フィードバックや面談機会が十分でないとの意見あり ・保護者交流の場が限られている	・定期面談・交流会の実施 ・活動報告の情報発信を強化（HUG・公式LINE・SNS等）
2	・地域連携の不足（園・医療等）	・園等との連携はあるが、広がりが弱い	・公式LINEやチャット等を活用した情報共有 ・医療・地域機関との連携体制構築 ・保育所等訪問支援の実施
3	・非常時対応・安全管理の周知不足	・訓練や周知が十分に伝わっていないとの指摘あり	・定期的な訓練の実施と報告 ・保護者向け周知資料の整備

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2025年3月4日

事業所名: 児童発達支援 児童発達支援 ありんこみらい

対象人数(保護者)52人 回答者数 30人 回収 57.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1		とても広々しています。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	1		常にお教室の中を見れるわけではないのでわからないです。
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1		
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	3		HUGに記載されてる活動内容だけでは、判断できません。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	29	1		
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1		
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	3		毎回色々なプログラムがあり、子供も楽しみながら取り組めています。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	16	8	6	
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30			
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	6	2	まだ日が浅いのでわかりません
保護者への説明等	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	3		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	6	1	面談や日頃の状況を伝えあう時間がもう少し増えるとよいかと思います まだ日が浅いのでわかりません
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1		とても親身になってくれていると感じています。
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	12	3	まだ日が浅いのでわかりません 月1回開催していた活動を楽しみにしています
	⑲	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4		活動の振り返り時に親身になり話を聞いてくださいます。
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30			
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	3		
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3		
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	4		
	㉕	事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	6		該当しないのでわからない
満足度	㉗	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1		伸び伸びと活動しているのが写真からも伝わります。
	㉘	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1		朝、起きると「今日は、ありんこさん?」と聞くほど楽しみにしています。 毎週とても楽しみにしています。 いつも楽しいと言って帰ってきます
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	29	1		丁寧に対応していただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。息子の居場所ができて嬉しいです。 通いはじめてから言葉も増え、運動も少しずつできるようになってきました。 子供がとても楽しんで通えていることが親としてもうれしいです。 これからもよろしくお願ひいたします。 みらいに通って本当に良かったと思います。 放課後デイサービスもあればまた通いたいと思います。 安心、信頼できる場所だと思います。 入所できて子供の成長が目に見えて分かるようになり、感謝しています